

パソコンがわかる教室新聞

日進月歩で進化するパソコン。一昔前では考えられないくらい高性能になっています。逆に今持っているパソコンはどんどん時代遅れに…買い換えるなら注目する点は？

一番はなんと言っても機能面

パソコンを購入するときになんと言っても迷うのは機能面です。種類がたくさんありすぎてどれを選べば…カタログを見ても意味不明な記号が…次の項目に注目すればどれを選べば、が見えてきます。カタログとにらめっこしてみましょう。



①CPU

パソコンの処理能力を左右する一番肝心な部分です。当然、高性能ほど高価になりますが、予算の許す限り高性能ものを選びたいものです。主には2種類のメーカーのものが使われています。カタログなどで確認しましょう。

・インテル…Core i7 i165G7 など

i5 や i7 はシリーズ名、次の番号 11 は世代番号。最新は 11 世代です。

・AMD…Ryzen 7 4700U など

5 や 7 はシリーズ名、次の数字 4 は世代番号。最新は 4 世代です。

シリーズは番号が大きいほうが高性能、世代は新しいほうがいいでしょう。

②ストレージ (補助記憶装置)

様々なものを保存しておく記憶装置で、今まではHDD (ハードディスクドライブ) が主流でした。今では軽量で読み書きのスピードが早いSSD (ソリッドステートドライブ) に変わっています。HDDよりSSDが、²⁵⁶GBより1TBなど記憶容量が大きいほど高価になります。

③メモリ (主記憶装置)

パソコンが様々な処理を行うときに使用する作業場所に当たる記憶装置です。容量が大きいほど作業効率が高くなります。16 GB以上が理想かもしれません。

④光学ドライブ

DVDやCDなどのディスクメディアを読み書きする機器です。最近のモデルは軽量化のために付属しない機種もあります。ソフトのインストールや、音楽やビデオなどの視聴がオンラインでもできる環境が充実してきていますので、昔ほど必要性がなくなっていました。

⑤Wi-Fi

最新の規格がWi-Fi 6です。通信速度も早く、一度に接続できる機器も増えます。より安定し

た通信が得られます。なお、古いルーターでは6に対応していない場合もありますので、ルーターの買い替えも必要になる場合も…。

⑥ディスプレイ

ノート型では15.6型(インチ)が主流ですが、それより小さいものもあります。また、画面解像度ではフルHDがより綺麗に表示できるでしょう。4K対応ではもっと綺麗ですがノート型では不要かもしれません。

⑦オフィスソフトの有無

ワードやエクセルを使用するなら、最初からセットされている物を選びましょう。後で購入するより手軽で割安です。

⑧WindowsかMacか

スマホと違い、AndroidかiPhoneか? に似てみましょうか。

Windows 搭載のパソコンは、NEC、富士通、VAIO、DELL など、各種メーカーから販売されており、機種も多彩です。それに対して、iPhoneと同じアップルから販売されているのがMacです。機種はそう多くなく、主にはディスプレイの大きさが異なるものです。

WindowsとMacではOSの仕組みが異なるので、操作も若干異なります。が、様々なところで互換性は保たれています。

最後はやはり予算

携帯するなら、薄くて軽くて小さい物が良いでしょうし、あまり小さいと画面も見づらくなるので、大きめの画面も良いでしょう。また、テレビくらいの大きな画面がよいのならデスクトップの据え置き型が良いでしょう。どちらにしても、常に使うもので、目につくものですから、やはり見た目にもこだわりたいものです。色、大きさ、スタイリングなどなど、格好いいものを選びましょう。でも最終は予算ということになります。



教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。
新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

